

令和6年度 事業報告書
令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
特定非営利活動法人 工房・虹と夢

1 事業の成果

【障がい者の自立支援に関する事業】

工房・虹と夢は、ひとり一人に対する支援計画と、それに基づいた日常の作業指導・内容を現実にあった形で組み立ててきました。また、利用者それぞれの障がい特性に応じた選択肢や可能性を広げる取り組みを通じ、工房の一員であるとの自覚を共有できるよう努力してきました。

イ) 就労継続支援事業《工房・虹と夢》

① 自主製品の製造・販売

市内の大型店が閉店するなど販売機会や場所の減少が続きましたが、函支連などを通じて函館市などへの働きかけを行い、渡島振興局との連携にも努めてきました。特に、工房としての自己努力として新製品や特徴のある製品の開発、パッケージ、販売方法の検討などにも力を入れてきました。

- ・パン、かりんとう、カンパン、クッキー、プチフルケーキ、ジャムなどの製造
- ・リサイクル粉石けん、固形石けんの製造
- ・手刺しふきん、手編み製品の製作、ペットボトルのキャップを再利用したレインボードロップスの制作

② 受注作業

地域のネットワークを通じて複数の企業からの作業受注や、新たな製品の共同開発なども順調で、一定の成果を上げてくることが出来ました。また、ものづくりにこだわる本州の会社からの定期的な注文も受けることができています。

特筆できることとして、函館市のふるさと納税の返礼品に虹のかりんとうセット『函館物語』が採用されるなど、新たな可能性も見え始めています。

③ 販売体験などを通じたコミュニケーション能力の獲得

利用者が直接参加する大切な機会と位置づけている各種販売会は、販売機会の減少にともなって実施することが出来ませんでした。

④ 地域との協力、ネットワークづくり

虹と夢の活動を地域に広げる一環として、地域の様々な人々、団体の協力による〈めぐる市〉や各種マルシェなどに参加してきました。特に渡島振興局の後押しによって〈めぐる市〉は開催数が増えるなど新たな可能性も広がっています。

【研修・啓発、広報活動に関する事業】

イ) 実修生・見学者、就労体験者の受け入れ

24年度は、養護学校や地域の相談支援センター、福祉大学などからの実修生・見学者、就労体験者の受け入れを実施することができました。

ロ) スタッフのスキルアップ、研修に関する事業

- ・障がい者の虐待防止・権利擁護のリモート研修や、スタッフ会議などでメディア情報も活用した対策・検討を行ってきました。
- ・さらに今年度は、職員に対してサビ管の資格取得のための必要な講習を受けさせるなどのスキルアップを実施しています。

ハ) 文化的な取り組みを通じ、ゆたかな情操と社会性の獲得をめざす事業

- ・自閉症啓発デーやアート展への参加。はこだて国際民俗芸術祭への協力。

- ・〈李政美コンサート〉を開催することができました。

ニ) 会報などを通じた広報活動

- ・『虹メール』の発行は、計画通り79号から83号まで年4回発行することができました。

『虹メール』は毎月発行するたびに反応があり、虹の重要な情報発信、広報活動の一つとなっています。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施月日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
障害者の自立支援に関する事業	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス就労継続支援B型を行った	通年	函館市 工房・虹と夢	7名	実利用者26名	37,387千円
研修・啓発に関する事業	①養護学校や地域の相談支援センターなどからの実修生・見学者、就労体験者の受け入れ ②会報などを通じた広報活動『虹メール』年4回発行	①通年 ②4月、6月、9月、1月	函館市 工房・虹と夢	7名	①各学校・センター利用者約8名 ②後援会員約200名	226千円

(2) その他の事業

実施しなかった